

2025年度第3四半期 決算説明資料

2026年2月5日

沖電気工業株式会社

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

皆さん、こんにちは。

本日はお忙しい中、沖電気工業株式会社の2025年度第3四半期の決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

- 2025年度 第3四半期決算
- セグメント別の概況
- 2025年度 通期予想

本日の説明内容はこちらのとおりです。

順を追って説明させていただきます。

1. 2025年度 第3四半期累計実績

- 売上高は一定水準を確保し、営業利益もおおむね順調に推移中
- 当期純利益はエトリア社参画に伴う事業譲渡益の計上などもあり、前年比で大幅増

2. 2025年度 通期業績予想

- 足元の事業動向を踏まえ、セグメントごとに見直しを実施、売上高を100億円下方修正、一方で営業利益は200億円に+10億円上方修正
- 当期純利益は+30億円上方修正し、190億円を見込む

まず、本日のご説明のポイントです。

今年度は、（前回2Qの決算発表時にも申し上げましたが、）昨年度までの新紙幣対応などの大型案件が一巡し、いわゆる「特需」的な案件のない、平常期の事業環境にあります。

第3四半期累計の売上高、営業利益は、前年度の大型案件の反動減があつて対前年同期比では減収・減益となりましたが、営業利益はおおむね順調に推移しています。

当期利益は、昨年10月1日付けで実施したプリンターの開発・生産部門のエトリア社への統合に伴い、事業譲渡益を特別利益として計上したことから、前年同期比で大幅な増益となりました。

通期の業績予想については、足元の事業動向を踏まえ、前回予想比で売上高は△100億円減の4,300億円に下方修正しますが、営業利益は200億円に+10億円の上方修正を行いました。全体として、事業収益力は確実に向上しています。

営業利益の上方修正に加え、営業外損益での為替影響、特別損益での政策保有株式の売却影響などを見直し、当期純利益は+30億円上方修正し、190億円を見込んでいます。

2025年度 第3四半期累計 決算概要

- 前年同期比では新紙幣対応など大型案件の剥落があり減収となるも、売上高は一定水準を確保
- 営業利益もほぼ想定どおりに推移中
- 当期純利益はエトリア社参画に伴う特別利益などもあり大幅増

(単位：億円)	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	対前年	
					増減差	増減率
売上高	2,566	2,866	3,070	2,822	△248	(△8%)
営業利益	△48	58	76	61	△15	(△20%)
営業利益率(%)	(△1.9%)	(2.0%)	(2.5%)	(2.2%)	(△0.3%)	
一過性要因除く営業利益	△48	17	108	59	△49	(△45%)
同営業利益率(%)	(△1.9%)	(0.6%)	(3.5%)	(2.1%)	(△1.4%)	
経常利益	△79	48	56	65	+9	(+16%)
親会社株主に帰属する当期純利益	△116	20	20	74	+54	(+270%)

※一過性要因（過去の中国ATM案件の売上債権に係る貸倒引当金戻入・計上）を除いた実質的な営業損益

平均レート	24年度	25年度
USD	152.6円	148.7円
EUR	164.8円	171.8円

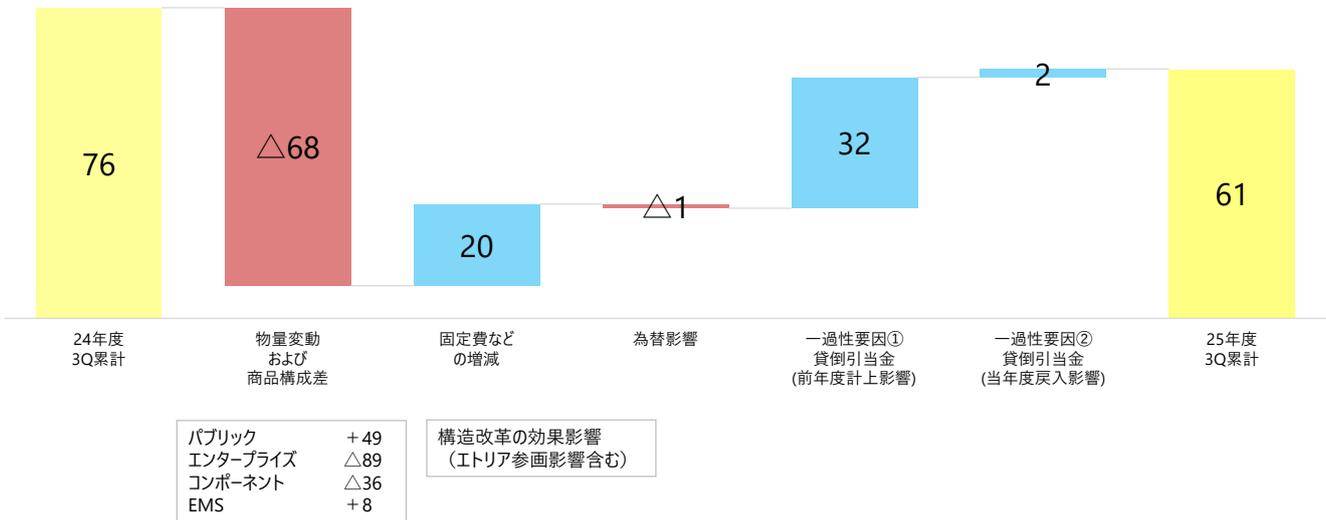
2025年度の第3四半期の累計は、売上高2,822億円、営業利益61億円、経常利益65億円、当期純利益74億円、となりました。

今年度は「特需」的な大型案件がない中で、売上高は一定水準を確保、各事業におけるコスト構造改革などの各種施策の積み上げにより、収益力は確実に高まっています。営業利益は、ほぼ想定どおりに推移している状況です。

当期純利益は、エトリア社への参画に伴い事業譲渡益として51億円を特別利益として計上したことから、大幅な増益となりました。

■ エンタープライズソリューションが新紙幣対応などの大型案件の剥落影響で大幅減益となる一方で、パブリックソリューションでは増収により損益が改善

(単位：億円)



続いて、第3四半期の営業利益の変動要因です。

『物量変動および商品構成差』が△68億円。新紙幣対応などの大型案件の反動減の影響で「エンタープライズソリューション」が大幅な減益となる一方で、昨年度来、注力している「パブリックソリューション」では、増収により営業利益が大きく伸びています。また、「コンポーネントプロダクト」は消耗品売上の減少などにより減益となりましたが、「EMS」では部品事業の回復により、損益が改善しています。

『固定費など』は+20億円の良化。第3四半期期首よりプリンター事業の開発・生産機能をエトリア社に統合した効果を含めて、昨年度以降、各事業部において実施してきたコスト構造改革により固定費が減少したものです。コスト構造改革の効果が着実に出てきています。

『為替』は、全体として△1億円の減益影響。

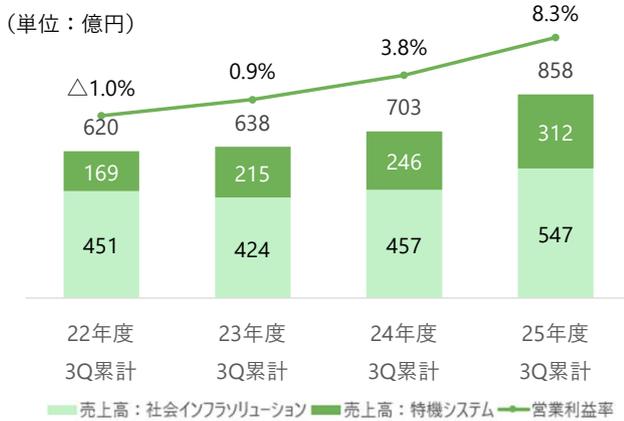
一過性要因はいずれも過去の中国ATM案件における売上債権に係る引当金の変動影響です。回収シナリオの見直しに伴い昨年度に計上した貸倒引当金32億円の影響の解消と、今年度における債権の一部回収に伴う引当金戻入2億円の影響です。

以上が、営業利益の変動要因の説明です。

- 2025年度 第3四半期決算
- セグメント別の概況
- 2025年度 通期予想

次に、セグメントごとの売上高と営業利益についてご説明します。

- 社会インフラ・特機システムとも増収、営業利益も大幅に増加
- 堅調な市場環境のもと、通期の営業利益は前回予想比で+40億円の上方修正



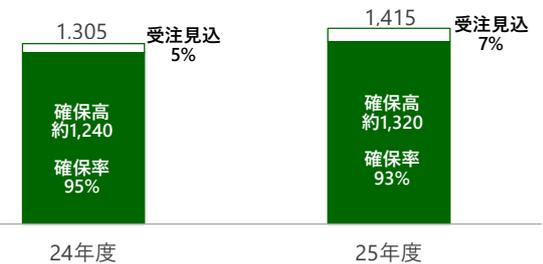
【社会インフラソリューション事業】

- 市場環境は消防・防災・道路を中心に引き続き堅調
- 通信ではキャリア向けプロダクトを自営ネットワーク市場へ展開中

【特機システム事業】

- 水中音響を中心に売上・受注は堅調に推移
- 豪州次期フリゲート艦案件の受注に向け継続対応中

(ご参考) 年間売上高確保の状況【1月末時点】[億円]



(単位：億円)	3Q累計				通期		
	22年度	23年度	24年度	25年度	24年度	25年度 (予想)	補足
売上高	620	638	703	858	1,305	1,415	期初予想のまま
営業利益	△6	6	27	71	141	175	期初予想比+40億円

まずは、「パブリックソリューション」です。

売上高は、前年同期比で+155億円増加し、858億円。営業利益は71億円となり、前年比では+44億円良化しています。

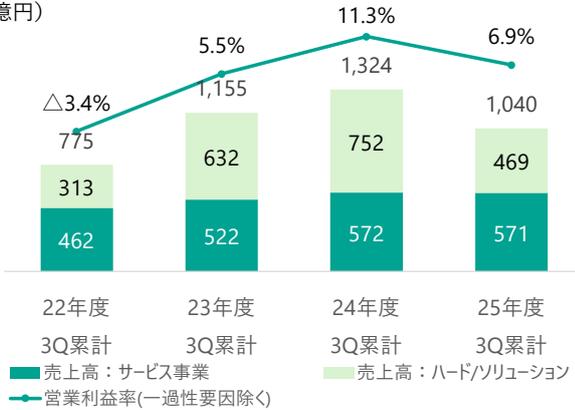
市場環境は、消防・防災・道路・防衛を中心に引き続き堅調であり、足元の年間売上高確保の状況は、右側のグラフに示しているとおり、現時点で93%の確保率となっています。

残る受注案件の獲得に注力するとともに、すでに受注済みの案件の納品完了に向け、着実に準備を進めていますが、個別案件ごとの進捗と採算性の検証に基づき、通期の営業利益見通しを、従来予想から+40億円上方修正しました。

通期の営業利益は175億円となる見通しで、堅調な市場環境を背景に事業収益力は確実に向上しています。

- 2年度にわたる大型案件の剥落後も、安定した売上高と営業利益率を確保
- 今後の事業成長に向け、新規顧客獲得およびコストダウン施策を展開中

(単位：億円)



- 国内金融市場における更改案件は順調。加えて、新規顧客獲得および保守・監視を含めたオペレーション支援ビジネスの拡大を強化
- インド（25年12月よりATM現地生産機種の販売を開始）やアジア市場への展開を加速
- ベトナム新工場の稼働は順調。現地での調達機能強化も図り、コスト競争力の更なる強化に注力中

(単位：億円)	3Q累計				通期		
	22年度	23年度	24年度	25年度	24年度	25年度(予想)	補足
売上高	775	1,155	1,324	1,040	1,798	1,540	期初予想比△35億円
営業利益	△26	105	118	74	131	110	期初予想のまま
営業利益(一過性要因除く)	△26	※ 64	※ 150	※ 72	※ 170	110	期初予想のまま

※一過性要因（過去の中国ATM案件の売上債権に係る貸倒引当金計上・戻入）を除いた実質的な営業損益

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

8/13

続いて、「エンタープライズソリューション」です。

売上高は、前年同期比で△284億円減少し、1,040億円。営業利益も、一過性要因を除いたベースで見ると前年比で△78億円減少し、72億円となりました。昨年度上期を中心に、「新紙幣対応」を含む大型案件があったことの反動減によるものです。

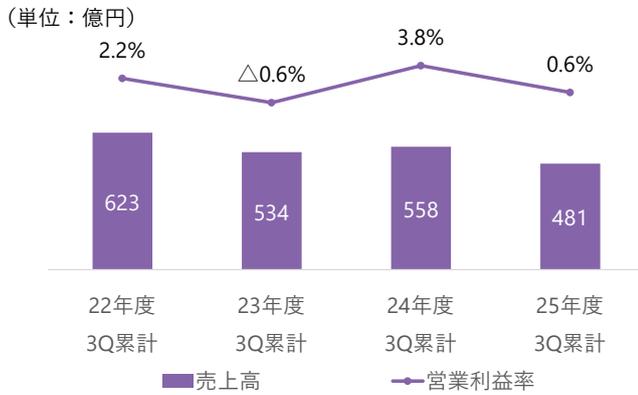
今年度はこうした「大型案件」はなく、所謂平常期に戻っていますが、固定費削減などの施策の推進により、営業利益率は約7%を確保しています。ベースの収益力は確実に向上しています。

国内金融市場では更改案件の獲得や多様なニーズに応じた新規需要の創出に注力しており、特に金融機関を中心にATMや金融窓口端末の保守拡大の取り組みを推進しています。

海外においては、インドで、昨年9月に現地生産を始めたATMの販売を開始するなど、アジア市場でのビジネス展開を加速し、新たな成長機会の創出に取り組んでいます。

また、ベトナムでは、新たな量産工場が稼働し、現在、現地での調達機能の強化を進めています。こうした取り組みにより生産効率・コスト競争力の更なる向上を図り、収益力の強化と安定化を推進していきます。

- プリンター消耗品の売上減少などにより前年同期比減収・減益。利益重視のマネジメントを推進中
- IoT機器の伸び悩みもあり、通期見通しを売上高△25億円、営業利益△10億円下方修正



➤ 収益安定化に向けた施策の状況

- ✓ エトリア参画に伴う新体制でのオペレーションは順調
- ✓ 商品ラインナップの拡充および新機種投入により、販売体制を強化
- ✓ 海外販社の構造改革を引き続き推進中

(単位：億円)	3Q累計				通期		
	22年度	23年度	24年度	25年度	24年度	25年度 (予想)	補足
売上高	623	534	558	481	758	700	前回予想比△25億円
営業利益	14	△3	21	3	29	20	期初予想比△10億円

次に、「コンポーネントプロダクツ」です。

売上高は、前年同期比で△77億円減少し、481億円。営業利益も、前年同期比で△18億円減少し、3億円となりました。

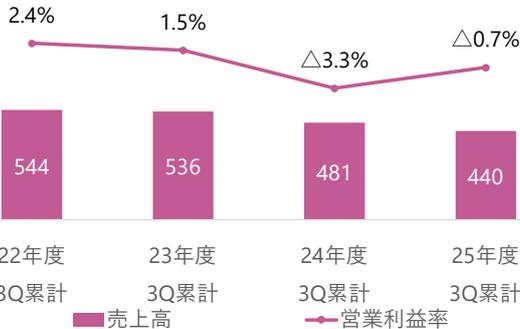
情報機器事業の海外での消耗品販売の減少などにより減収・減益となりましたが、現在、海外販社の構造改革に取り組んでおり、引き続き利益を重視したマネジメントに注力します。

通期の業績予想については、足元の事業動向を踏まえ、従来予想から売上高は△25億円減少の700億円、営業利益は△10億円減少の20億円としました。

情報機器事業の開発・生産部門のエトリア社への統合は、順調に立ち上がっており、この新しい枠組みのもと、商品開発力の更なる向上やコストダウンを進めるとともに、複合機の再ラインナップや新機種の投入による販売の強化にも取り組み、中長期的な収益の安定化を図っていきます。

- D/EMS事業の主要顧客において在庫調整・開発延伸の影響などが継続。一方、部品事業では需要の回復や新規開拓が進展、営業損益は改善中
- 各事業の進捗状況を踏まえ、通期見通しを売上高△25億円、営業利益△20億円下方修正

(単位：億円)



➤ D/EMS事業

- ✓ 一部顧客において在庫調整や開発延伸が継続。「まるごとEMS」サービスの提案強化を継続も、今期見通しは当初想定に届かず

➤ 部品事業

- ✓ プリント配線板
AI半導体、航空宇宙向けの新規開拓が順調
- ✓ ケーブル
FA・ロボット市場の大口顧客における在庫調整が一巡し、需要が回復

(単位：億円)	3Q累計				通期		
	22年度	23年度	24年度	25年度	24年度	25年度 (予想)	補足
売上高	544	536	481	440	659	640	前回予想比△25億円
営業利益	13	8	Δ16	Δ3	Δ8	20	前回予想比△20億円

最後に「E M S」です。

売上高は、小型モーター事業を手掛ける子会社を譲渡した影響もあり、前年同期比で△41億円減少し、440億円。営業損益は、+13億円改善して△3億円です。

D/EMS事業では、一部顧客での在庫調整が継続しており、また開発の延伸もあって、売上高が前年を下回る状況にあります。引き続き「まるごとEMS」サービスの提案を強化しており、一部受注済みの案件もありますが、年間の業績見通しは当初想定に届かない状況です。

一方で、部品事業においては、プリント配線板は、AI半導体向けや航空・宇宙関連の新規案件の受注が引き続き好調。また、FA・ロボット市場向けのケーブルでは需要が回復しており、営業損益は着実に改善しています。

収益率の高い部品事業の伸長により営業利益は着実に改善してきてはいるものの、通期の業績予想は、足元のD/EMS事業の受注状況などを踏まえて、従来予想から売上高は△25億円減の640億円、営業利益は△20億円減の20億円としました。

引き続き市場や顧客ごとの需要動向などを注視しつつ、収益力回復に向けた施策を実行していきます。

- 2025年度 第3四半期決算
- セグメント別の概況
- 2025年度 通期予想

最後に、2025年度の通期業績予想です。

2025年度 通期業績予想

- 足元の事業状況を踏まえ、売上高は△100億円下方修正し4,300億円、営業利益は+10億円上方修正し200億円を見込む
- 当期純利益は、為替や政策保有株式売却の影響などを織り込み、+30億円上方修正し190億円を見込む
- 1株あたり配当金は50円を据え置くが、今後の業績動向に応じて見直しを検討

(単位：億円)	22年度 通期(実)	23年度 通期(実)	24年度 通期(実)	25年度 通期(予) 25年11月6日	25年度 通期(予) 今回	対前年		対予想	
						増減差	増減率	増減差	増減率
売上高	3,691	4,219	4,525	4,400	4,300	△225	(△5%)	△100	(△2%)
営業利益	24	187	186	190	200	+14	(+8%)	+10	(+5%)
営業利益率(%)	(0.7%)	(4.4%)	(4.1%)	(4.3%)	(4.7%)	(+0.6%)		(+0.4%)	
経常利益	△3	183	168	170	200	+32	(+19%)	+30	(+18%)
親会社株主に帰属する当期純利益	△28	256	125	160	190	+65	(+52%)	+30	(+19%)
ROE(%)	△2.7%	21.4%	8.7%	9.4%	9.4%	(+0.7%)		(±0.0%)	
自己資本比率(%)	25.4%	33.3%	35.4%	37.0%	37.0%	(+1.6%)		(±0.0%)	
1株あたり配当金(円)	20	30	45	50	50	+5	(+11%)	±0	(±0%)

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

12/13

売上高は前回予想比で△100億円下方修正の4,300億円、営業利益は+10億円上方修正の200億円です。

これに加えて、営業外損益として為替影響や、特別損益として政策保有株式売却の影響などを見直して、当期利益は+30億円上方修正し、190億円を見込みます。

配当予想は据え置きとしましたが、今後の業績動向に応じて、経営目標としている「配当性向30%以上」をメルクマールとして、見直しを検討する方向です。

中期経営計画2025の総仕上げとして、収益力強化のための施策を完遂すべく、年度末に向けてそれぞれの事業毎に、また全社を挙げて取り組んでまいります。

以上をもって、2025年度第3四半期の決算説明とさせていただきます。

最後に、新経営計画の公表についてのお知らせです。

2026年4月から始まる「新経営計画」の骨子については、3月末までに公表する予定です。公表日や公表方法については、改めて弊社ホームページにてご案内します。

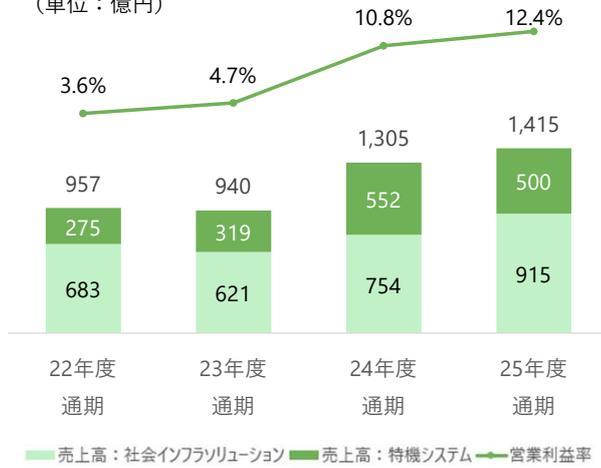
ご清聴いただきありがとうございました。

以下補足資料

(補足)セグメント別通期業績推移 1/2

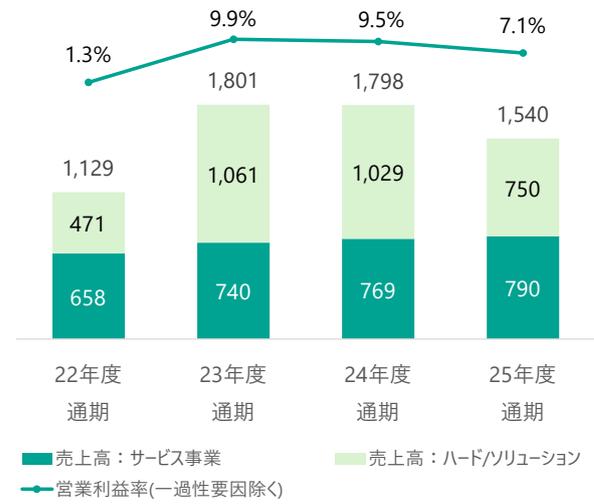
パブリックソリューション

(単位：億円)



(単位：億円)	22年度 通期	23年度 通期	24年度 通期	25年度 通期(予)
売上高	957	940	1,305	1,415
営業利益	34	44	141	175

エンタープライズソリューション



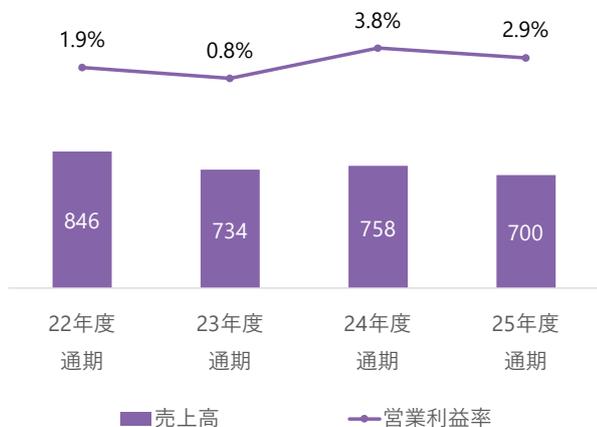
(単位：億円)	22年度 通期	23年度 通期	24年度 通期	25年度 通期(予)
売上高	1,129	1,801	1,798	1,540
営業利益(一過性要因除く)	15	179	170	110

(補足)セグメント別通期業績推移 2/2



コンポーネントプロダクツ

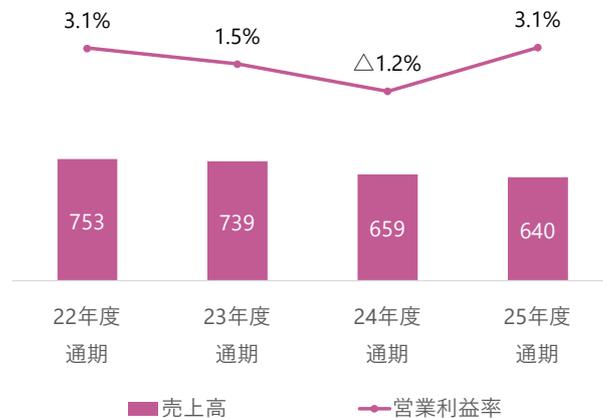
(単位：億円)



(単位：億円)	22年度 通期	23年度 通期	24年度 通期	25年度 通期(予)
売上高	846	734	758	700
営業利益	16	6	29	20

EMS

(単位：億円)



(単位：億円)	22年度 通期	23年度 通期	24年度 通期	25年度 通期(予)
売上高	753	739	659	640
営業利益	23	11	△8	20

(補足) 2025年度 第3四半期 B / S 流動・固定内訳

(単位：億円)	25年 3月末	25年 12月末	期首差
流動資産	2,319	2,282	△37
固定資産	1,791	1,907	+116
資産	4,110	4,189	+79
流動負債	1,670	1,785	+115
固定負債	982	875	△107
負債	2,652	2,660	+8
自己資本	1,456	1,528	+72
その他	1	1	±0
純資産	1,457	1,529	+72
負債及び純資産合計	4,110	4,189	+79
自己資本比率(%)	35.4	36.5	+1.1
DEレシオ(倍)	0.7	0.7	±0.0

(補足) 2025年度 第3四半期 キャッシュ・フローの概要

(単位：億円)	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	対前年 増減差
I 営業キャッシュ・フロー	35	△58	△93
II 投資キャッシュ・フロー	△102	△97	+5
フリー・キャッシュフロー(I + II)	△67	△155	△88
III 財務キャッシュ・フロー	28	54	+26

固定資産取得額	114	112	△2
減価償却費	111	112	+1

(単位：億円)	25年 3月末	25年 12月末	期首差
現金および現金同等物の残高	362	270	△92

(補足) 2025年度 第3四半期 セグメント別売上/利益

(単位：億円)		22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	対前年	
						増減差	増減率
パブリック ソリューション	売上高	620	638	703	858	+155	(+22%)
	営業利益	△6	6	27	71	+44	(+163%)
	営業利益率	(△1.0%)	(0.9%)	(3.8%)	(8.3%)		(+4.5%)
エンタープライズ ソリューション	売上高	775	1,155	1,324	1,040	△284	(△21%)
	営業利益	△26	105	118	74	△44	(△37%)
	営業利益率	(△3.4%)	(9.1%)	(8.9%)	(7.1%)		(△1.8%)
コンポーネント プロダクツ	売上高	623	534	558	481	△77	(△14%)
	営業利益	14	△3	21	3	△18	(△86%)
	営業利益率	(2.2%)	(△0.6%)	(3.8%)	(0.6%)		(△3.2%)
EMS	売上高	544	536	481	440	△41	(△9%)
	営業利益	13	8	△16	△3	+13	-
	営業利益率	(2.4%)	(1.5%)	(△3.3%)	(△0.7%)		(+2.6%)
その他	売上高	4	3	3	3	-	(±0%)
	営業利益	4	△7	△10	△11	△1	-
消去・本社費	営業利益	△46	△51	△64	△74	△10	-
連結合計	売上高	2,566	2,866	3,070	2,822	△248	(△8%)
	営業利益	△48	58	76	61	△15	(△20%)
	営業利益率	(△1.9%)	(2.0%)	(2.5%)	(2.2%)		(△0.3%)
	経常利益	△79	48	56	65	+9	(+16%)
	当期純利益	△116	20	20	74	+54	(+270%)

(補足)セグメント別売上高/営業利益 (四半期別推移)

(単位：億円)		23年度					24年度					25年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
パブリック	売上高	193	200	245	301	940	191	222	290	602	1,305	215	288	355
ソリューション	営業利益	△1	△7	14	39	44	△13	8	32	114	141	△3	23	51
エンタープライズ	売上高	274	365	515	647	1,801	452	419	453	474	1,798	336	343	361
ソリューション	営業利益	19	20	66	114	220	78	35	5	13	131	20	30	24
コンポーネント	売上高	170	179	185	200	734	179	188	191	200	758	156	166	159
プロダクツ	営業利益	△8	13	△8	9	6	△1	10	12	8	29	1	0	2
E M S	売上高	177	188	171	203	739	156	168	157	178	659	143	145	152
	営業利益	6	3	△1	3	11	△6	△4	△6	8	△8	△5	1	1
その他	売上高	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	1	0	2
	営業利益	△1	△3	△3	△4	△11	△4	△4	△2	△5	△15	△4	△4	△3
消去・本社費	営業利益	△14	△15	△22	△32	△83	△16	△21	△27	△28	△92	△23	△25	△26
連結合計	売上高	815	933	1,118	1,353	4,219	979	998	1,093	1,455	4,525	851	943	1,028
	営業利益	0	10	48	129	187	39	23	14	110	186	△14	26	49

(補足) 2025年度 通期業績予想 セグメント別売上/利益



(単位：億円)		22年度 通期(実)	23年度 通期(実)	24年度 通期(実)	25年度 通期(予) 25年11月6日	25年度 通期(予) 今回	対前年		対予想	
							増減差	増減率	増減差	増減率
パブリック	売上高	957	940	1,305	1,415	1,415	+110	(+8%)	±0	(±0%)
ソリューション	営業利益	34	44	141	135	175	+34	(+24%)	+40	(+30%)
	営業利益率	(3.6%)	(4.7%)	(10.8%)	(9.5%)	(12.4%)	(+1.6%)		(+2.9%)	
エンタープライズ	売上高	1,129	1,801	1,798	1,575	1,540	△258	(△14%)	△35	(△2%)
ソリューション	営業利益	15	220	131	110	110	△21	(△16%)	±0	(±0%)
	営業利益率	(1.3%)	(12.2%)	(7.3%)	(7.0%)	(7.1%)	(△0.2%)		(+0.1%)	
コンポーネント	売上高	846	734	758	725	700	△58	(△8%)	△25	(△3%)
プロダクト	営業利益	16	6	29	30	20	△9	(△31%)	△10	(△33%)
	営業利益率	(1.9%)	(0.8%)	(3.9%)	(4.1%)	(2.9%)	(△1.0%)		(△1.2%)	
E M S	売上高	753	739	659	665	640	△19	(△3%)	△25	(△4%)
	営業利益	23	11	△8	40	20	+28	-	△20	(△50%)
	営業利益率	(3.1%)	(1.5%)	(△1.2%)	(6.0%)	(3.1%)	(+4.3%)		(△2.9%)	
その他	売上高	5	4	4	20	5	+1	(+345%)	△15	(△75%)
	営業利益	4	△11	△15	△15	△15	±0	-	±0	(±0%)
消去・本社費	営業利益	△68	△83	△92	△110	△110	△18	-	±0	(±0%)
連結合計	売上高	3,691	4,219	4,525	4,400	4,300	△225	(△5%)	△100	(△2%)
	営業利益	24	187	186	190	200	+14	(+8%)	+10	(+5%)
	営業利益率	(0.7%)	(4.4%)	(4.1%)	(4.3%)	(4.7%)	(+0.6%)		(+0.4%)	
	経常利益	△3	183	168	170	200	+32	(+19%)	+30	(+18%)
	当期純利益	△28	256	125	160	190	+65	(+52%)	+30	(+19%)
	1株当たり配当金(円)	20	30	45	50	50	+5	(+11%)	±0	(±0%)

(補足)各セグメントの主な製品およびサービス

パブリック ソリューション	<ul style="list-style-type: none">• 道路（ETC/VICS）、航空管制、防災、消防• 中央官庁業務システム、政府統計システム• 防衛システム（水中音響/情報）• 航空機器• インフラモニタリング• キャリアネットワーク、映像配信、5G・ローカル5G
エンタープライズ ソリューション	<ul style="list-style-type: none">• ATM、現金処理機• 営業店端末、予約発券端末、チェックイン端末• ATM監視・運用サービス• 金融営業店システム、事務集中システム• 鉄道発券システム、空港チェックインシステム• 製造システム（ERP/IoT）• 工事・保守サービス
コンポーネント プロダクツ	<ul style="list-style-type: none">• AIエッジコンピューター、センサー、IoT NW• PBX、ビジネスホン、コンタクトセンター• クラウドサービス• LEDプリンター
EMS	<ul style="list-style-type: none">• 設計・生産受託サービス• プリント配線板

※本資料における業績予想および事業計画などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって、実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。